

心臓超音波検査

心臓の動きや壁・弁の性状（ようす）を、超音波を使って直接みる検査です。心臓弁膜症や心臓の機能、心筋梗塞後の壁の動きの様子がわかります。

【検査方法】

上半身を脱いで裸になっていただき、左側臥位（左を下に横向き）になります。ゼリーをぬりながら超音波発信器（プローブ）を胸に押し当てながら検査をします。場合によっては痛みを感じることもありますが、苦痛はほとんどありません。心臓が見にくい場合などは、息を吸ったり吐いたり止めたりしていただきます。検査時は電気を消し薄暗い部屋で行います。

【検査時間】

20～30分程度です。

【検査の準備・注意事項】

検査時には上半身を脱いでいただきますので、着脱の容易な服装でお越し下さい。胸にゼリーをつけながら検査します。検査後にゼリーを拭くためのタオルをご用意下さい。



検査は上半身裸でおこないます